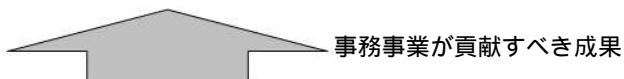


施 策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01030102-11-00
基本事業：	01	社会参加と生きがいづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標		地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合	担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和46年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1 . 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2 . 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市シニア連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブ		筑紫野市老人クラブ活動等社会活動促進事業費補助金交付規程等に基づき、筑紫野市老人クラブ連合会及び連合会に加盟する単位老人クラブの運営・活動等に対して、助成金を交付し、活動を支援するもの。								
3 . 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		<p>【根拠となる要綱等（上記以外）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉法（第13条） ・福岡県高齢者社会活動推進事業費補助金交付要綱 <p>【組織体制】全国老人クラブ連合会 都道府県老人クラブ連合会 市町村老人クラブ連合会 単位老人クラブ</p> <p>【手続き】交付申請書（報告書及び計画書含む）の提出 交付決定 交付</p> <p>【助成種別】</p> <p>単位老人クラブ運営費助成（4,320円×12月×加盟単位クラブ数） 市シニア連合会運営費助成（1,170円×12月×加盟単位クラブ数） 体育振興費・研修・生きがいづくり仲間づくりに係る助成金</p>								
4 . 成果（簡易評価は未記入）		成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
会員数	人			3,029	2,999	3,000	3,000			
単位クラブ数		クラブ	61	60	61	60			60	
5 . コスト										
事業費		計	千円	4,684	4,264	4,619	4,619			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	2,389	2,343	2,344	2,337			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
		一般	千円	2,295	1,921	2,275	2,282			
正職員人工数		人工	0.25	0.07	0.07	0.07				
正職員人件費		千円	2,016	562	554					
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)		千円	6,700	4,826	5,173	4,619				
6 . 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえば あがっている あがっていない (停滞・低下)	<p>【状 況】クラブ数、会員数ともに減っている。</p> <p>【原 因】新型コロナウイルス感染拡大予防のため、感染予防（マスク、体温測定）に必要な対応を講じ、代替活動（手紙や訪問活動）を取り入れながら活動を継続したが、活動を縮小を余儀なくされたことが影響したと思われる。</p> <p>【その他】コロナ禍における活動調査を実施。連合会で計画していた体育振興事業（ゲートボール大会等）や研修がコロナ禍で中止となり、助成金の返還が発生しているため、令和3年度予算で対応する予定。単位クラブの活動については、市の助成金以上の支出を確認した。</p>									
7 . 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	減少	類似事業	なし	高齢者の社会参加やネットワークづくりなど、共助社会づくりにおいて老人クラブの果たす役割は大きくなっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8 . 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持 / 事業終了の場合は記入する必要なし）										
会員数に応じた助成金への見直しに向けた課題整理や将来的な事業費増額の可能性に配慮した配分基準等の検討を、連合会と協議していきます。				令和元年度より補助金に係る要綱を一とする3つの事務事業の統合を図り、本事業に以下の2つの事業を追加し、事務事業の整理を行った。 ・生きがいづくり仲間づくり助成金事業 ・単位老人クラブ運営費助成事業						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄						
生きがいと健康づくりのための社会活動が行われ、老後の生活を豊かに、明るい長寿社会づくりのため。 超高齢社会にも突入し、地域包括ケアシステム構築における多様な社会資源の1つとして老人クラブ活動の活性化は必要と思われる。										